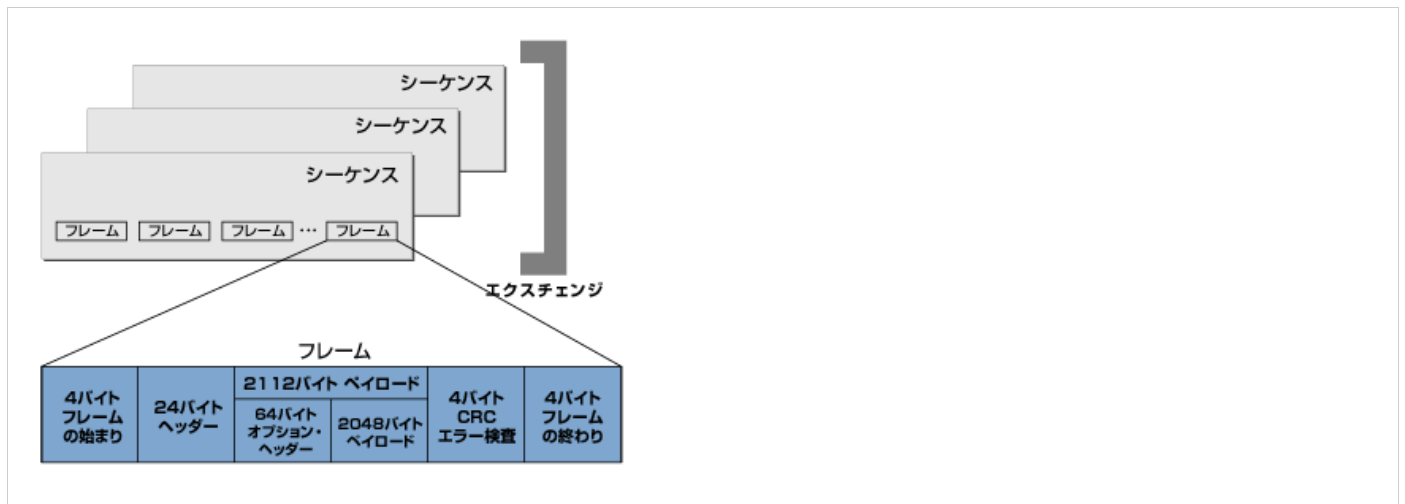


ファイバー・チャネルのデータ・パッケージ構造



ファイバー・チャネルで 사용되는「データ・パッケージ」の構造を説明します。フレームは、リンクに送られるデータの最小パケットです。アドレス指定は24バイトのフレーム・ヘッダーで行われます。

シーケンスは、1つの操作に関連する1つまたは複数のフレームで構成されています。リンク上を同一方向に流れます。コマンド、プログラム、データ、IPパケットはそれぞれ1つのシーケンスです。シーケンスをフレームに分解するのがFC-2です。上位層のデータ構造が1つのシーケンスであるため、フレームはファイバー・チャネルを使ったソフトウェアに透過的です(意識されません)。

エクスチェンジは、1つの操作に関連する、1つ以上の複数シーケンスから構成されます。たとえば、データを読むためのSCSIコマンド、読み出したデータの転送、SCSIコマンドの完了ステータスはそれぞれ3つの別々のシーケンスであり、これらが1つのエクスチェンジを形成します。

データを転送する場合、エクスチェンジを使って2つのポート間の操作を決定、管理します。エクスチェンジはシーケンスに分割されます。各シーケンスは、シーケンスのイニシエーターによって、フレーム・ヘッダー内で一意に識別されます。また、シーケンス内のフレームは、任意のシーケンス番号が振られます。